福岡工業大学研究論集テンプレート(16pt.)

―サブタイトル(14pt.)―

研　究　論　集(14pt.)（大学院電気工学専攻）

山　田　太　郎（電子情報工学科，10pt.）

共　著　者　名（＊＊大学＊＊学科，右詰め）

**How to Prepare Your Papers in MS-Word**

**for Publication in Research Bulletin of FIT (Bold, 12pt.)**

**- Subtitle –**

Ronsyu Kenkyu (Graduate School of Electrical Engineering) (11 pt.)

Tarou Yamada(Department of Information Electronics)

Syamei Kyocho (Department of \*\*, \*\*University)

**Abstract (Bold, 10 pt.)**

The abstract body should be in Times New Roman, 10 point and about 100 words. The abstract body should be in Times New Roman, 10 point and about 100 words. The abstract body should be in Times New Roman, 10 point and about 100 words.

**Key words:** *About five key words in order of importance, separated by commas. Use italics and 10 point.*

**1.　和文原稿の作成概要**

　原則としてこのテンプレートをコピーして上書きする。詳細は研究論集第2号末尾を参照する。

1. Microsoft Wordを使用する。
2. 用紙サイズは，A4とする。
3. 表題と著者名は和文と英文の両方を記載し，英文表題は主要な単語の先頭文字を大文字とする。
4. Abstract（先頭文字のみ大文字）は英文で100 words程度（10 pt.）とし，文頭を少し空ける。
5. K**ey words:** (Bold)は5個程度で，イタリック表記。
6. 1ページ目の表題からKey Words の下（空行1）までを1段組みとする。余白は上35mm，下30mm，左25mm，右25mmとする。
7. 本文（10 pt.）は2段組みとし，1ページは44行，1行24文字とする。2段組みの余白は上35mm，下30mm，左15mm，右15mmとする。
8. 字体はMS明朝で，英数字は原則としてTimes New Romanとし，半角を用いる。
9. 文頭，改行の冒頭は１文字あける。
10. 句読点は全角の“ ，”と“。”を使用する。
11. 参考文献は原則として上付きの添え字として，1) または2, 4-7) とするが当該学問分野の表記でも可。

**2.　見出しと式**

**2. 1　章・節・項等の見出し**（Bold）

　原則として章・節・項の見出しは左揃えとし，番号は半角でTimes New Romanを使用する。各番号の後を全角1文字分空ける。章は上下空行1で，節は上空行1で下空行なし，項の上下は空行なしとする。

**1.**・・・（章は上下空行1）

**1. 1** （**1.**と**1**の間を半角空ける。節は上空行1で下空行なし）

**1. 1. 1**　・・・（項は上下空行なし）

(1) ・・・ または(a) ・・・など

(2) ・・・

**1. 1. 2**

(1) ・・・ または(a) ・・・など

**2. 2　式の挿入**（節は上空行1で下空行なし）

(1) 式の番号は，(1)， (2)， (2. 1)， (2. 2) のように通し番号（9 pt. 程度）とする。

(2) 「Microsoft 数式エディタ」を使用すると簡単に式を挿入できる。

**3.　図・グラフ・写真の挿入**

1. 図・グラフ・写真の番号は同一の通し番号とし，図・グラフ・写真の「下側」にタイトルを記入。
2. 図１の番号１の後に“．”を入れない。Fig. 1のFig.と１の間を半角空ける。
3. 図等のタイトル文字の大きさは同一論文中で統一する（9， 10 pt.程度）
4. 図（またはFig. ）はMicrosoft Word　または PowerPointで，グラフはMicrosoft Excel で描いて，写真はディジカメやスキャナーで取り込んで，保存し，後でコピーしてWord文書に貼り付けると編集しやすい。

**4.　表の挿入**

1. 表（またはTable）の番号は通し番号とし，表の「上側」にタイトルを記入。
2. Table 1の番号の後に“.”を入れない。Tableと1の間を半角空ける。
3. タイトルの文字の大きさは同一論文中で統一する（9, 10 pt.程度）
4. 表はMicrosoft Excel 上で描いて保存しておき，後でWord文書に貼り付けると編集しやすい。

**5.　英文原稿の作成概要**

(1) 原則としてこのテンプレートをコピーして使用し，1ページ目の和文表題を削除して英文表題を16 pt. とする。

(2) 本文（10 pt.）の字体は原則としてすべてTimes New Romanとする。数字は半角を用いる。

(3) 見出し番号等は和文原稿の書き方に準じる。

(4) 句読点は半角の“,”と“.”を使用する。

**6.　投稿時の提出物**

1. 印刷原稿は，正副各 1部。
2. 電子原稿は，電子メールの添付ファイル（PDFが望ましい）もしくは外部メディア（FD/CD-R等）を1枚。外部メディアの場合は，ラベルに「提出日・論文タイトル・学科名・著者名」を記載。
3. E-mail: [tosyo-gyomu@fit.ac.jp](mailto:tosyo-gyomu@fit.ac.jp)

**7.　原稿の締切りと提出先**

1. 締切日は第1号を5月末日，第2号を10月末日。
2. 提出先は付属図書館。

**参考文献**（Bold， 章番号は不要， 上下空行1）

1. 山田太郎：メディア情報処理の一手法，福岡工業大学研究論集，第40巻，第2号， pp. 234-238, 2008．
2. 山田太郎：ロボットの音声認識法の検討1，平19九支連大， 12-1A-03, 2006.
3. 山田太郎：ロボットの音声認識法の検討2，信学論， Vol. 40, No. 7, pp. 345-349, 2007.
4. 山田太郎：音声認識，＊＊出版，頁，平成15年．
5. T. Yamada, Y. Tanaka and K. Suzuki : Minimum drift architecture for Neural Networks, IEEE Trans., Vol. 40, No. 5, pp. 153-158, 2007.
6. 主要論文誌・雑誌の略記は，研究論集2号末尾の一覧表を参照する。当該学問分野の略記でもよい。
7. 9 pt. で記述する。“，”の後は半角空ける。
8. 原則として上記の文献記載（著者名：タイトル，論文誌，巻，号，頁，西暦）とするが当該学問分野の表記でもよい。

**付録がある場合は，参考文献の後に記述。**

　＊＊年＊＊月＊＊日受付